

広島城跡石垣カルテの作成について（報告）

1 令和5年度までの実施内容

- ・ 天守台周辺、南・東小天守周辺を中心とした現況測量（資料 4-2 ①（青）部分）
- ・ 石垣カルテ作成マニュアルの作成
- ・ 同マニュアルに基づいた広島城跡石垣カルテの作成

2 令和6年度の実施内容

- ・ 史跡広島城跡保存活用会議石垣部会委員に対し、石垣カルテ作成マニュアル及び様式について書面照会を実施した。本年 10 月を目途に委員の意見を反映した改訂版を作成する（本マニュアルは状況に応じて適宜改訂を行い、より完成度を高める）。
- ・ 裏御門、腰曲輪部分を対象に新規測量を実施する（資料 4-2 ②（赤）部分）。
- ・ 合坂・階段部分（近代の改変箇所も含む）について、追加で平面計測を実施する。
- ・ 広島城跡石垣カルテについては、既測量部分の経過観察・所見追加を含めてこれまでの作業を継続する。

3 広島城跡石垣カルテ作成マニュアルについて

(1) 概要

- ・ 史跡広島城跡の石垣カルテ等整備にあたり、使用する用語の定義や観察のポイント、所見などのデータ蓄積の方法について、統一的な基準を定める。
- ・ 文化庁文化財部記念物課監修の「石垣整備のてびき」（2015）に準拠し、文化庁文化資源活用課が公開している「石垣の耐震診断に関する指針・要領（案）」（2023）に示されている内容（特に予備診断部分）も網羅する。
- ・ 広島城跡の石垣に特徴的な部分について、共通認識を持って作業・記録に当たるための作業指針とする。

(2) 記載内容

- ・ 別紙目次のとおり。

【石垣カルテ作成マニュアル 目次】

第1章 史跡広島城跡に係る石垣カルテの作成について

- 1 概要
- 2 石垣カルテの作成

第2章 史跡広島城跡の石垣調査における留意点について

1 台帳作成に先立つ現地確認作業

2 広島城石垣で特に留意すべき特徴

- (1) 使用石材に見られる特徴
 - ア 「積石前加工のあり方」として
 - イ 「積石後加工のあり方」として
 - (2) 積み方に関する特徴
- 3 石垣カルテに追加する観察項目等
 - (1) 出隅部、入隅部の正対写真
 - (2) 築石、間石・間詰等の区別
 - (3) 石材縁辺に残る加工痕跡
 - (4) 石材の積み方に関する記述方法
 - (5) 角石形状と面起こし、介石の有無、経年変化による石材の劣化
 - (6) 石垣面の「仕上げ」加工と、構成石材に残る加工の割合、素材の形状

第3章 石垣の調査

1 現地調査

- (1) 準備作業
- (2) 装備

2 調査結果の整理

- (1) 基礎的な調査
 - ア 基本情報記載内容一覧
 - イ 石垣様式の基本情報記載内容
- (2) 変状の調査と経過観察(目視による観察結果)
 - ア 石垣の変状の記録
 - イ 観察の留意点
- (3) 石垣の図面
 - ア 石垣立面図
 - イ 石垣縦横断図
 - ウ 石垣平面図

第4章 石垣カルテの構成

第5章 補修・補強等の整備について

1 石垣の管理区分について

- (1) 石垣自体の安全性に関する判定区分
- (2) 石垣の利用上の判定区分
- (3) 石垣管理区分表

2 追加調査及び緊急調査について(参考)

- (1) 現地調査の手法例
- (2) 解析手法の手法例

3 その他

※枠線で囲んだ箇所が、広島城跡の石垣に特徴的な部分を所見に残すため、特に留意すべき観察ポイントとなる。